



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 三菱製鋼株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5632 URL <https://www.mitsubishisteel.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤基行  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 柳沼康一 (TEL) 03(3536)3135  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	89,274	△5.9	405	△46.8	△277	—	△14,541	—
2019年3月期第3四半期	94,904	8.1	763	△68.5	△86	—	△176	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △17,050百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △3,195百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△945.22	—
2019年3月期第3四半期	△11.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	128,268	49,932	34.5
2019年3月期	153,327	67,353	38.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 44,201百万円 2019年3月期 59,039百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△7.2	0	△100.0	△1,300	—	△16,000	—	△1,040.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	15,709,968株	2019年3月期	15,709,968株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	325,377株	2019年3月期	325,590株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	15,384,610株	2019年3月期3Q	15,384,646株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報(連結)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月～2019年12月)における当社グループを取りまく経営環境は、自動車業界において、国内新車販売は前年並みの水準で推移し、海外では米中貿易摩擦等の影響により、北米、中国市場に加え、東南アジアにおいても販売台数が減少しています。建設機械業界においては、国内需要は堅調に推移したものの、インドネシア等アジア地域向け需要減の影響を受けた生産減とこれに伴う在庫調整があり、また産業機械・工作機械業界においても、内需・外需ともに需要が大幅に減少しております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比56億2千9百万円(5.9%)減収の892億7千4百万円となりました。営業利益は、主に特殊鋼鋼材事業における建設機械需要の低迷とばね事業における海外子会社での販売減の影響があり、減損損失の計上に伴う償却負担減少があるものの、前年同期比3億5千7百万円(46.8%)減益の4億5百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、第2四半期連結会計期間において海外子会社における減損損失として、特別損失147億1千4百万円を計上したため、145億4千1百万円の損失(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億7千6百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材事業につきましては、国内事業における建設機械向けをはじめとした需要低迷による売上減の影響が大きく、売上高は、前年同期比49億1千2百万円(10.3%)減収の425億5千8百万円となりました。営業利益は、国内事業においては、販売数量減の影響を、売価改善と来年度の高炉改修に備えた在庫積上げ並びにこれを活用した能率向上によるコスト改善で補い、また、海外事業では、インドネシアの商用車需要の低迷の継続や、副資材高騰及び生産トラブルによるコスト増があったものの、固定資産の減損損失の計上による償却負担減少等により、前年同期比7千7百万円(7.0%)増益の11億9千万円となりました。

ばね事業につきましては、北米子会社をはじめとした海外子会社での自動車向け販売減や、国内建設機械向けでは需要低迷に加え、一部サプライヤーの台風被害による建設機械メーカーの生産減に伴う販売減等があり、売上高は、前年同期比20億9千6百万円(5.6%)減収の353億1千7百万円となりました。営業利益は、固定資産の減損損失の計上による償却負担の減少及び固定費・一般管理費等のコスト削減があったものの、国内外での売上減の影響に加え、北米の新製品立ち上げ時の生産トラブルによるコスト増があり、前年同期比4億1千万円減益の11億2千5百万円の損失(前年同期は営業損失7億1千4百万円)となりました。

北米子会社における一部生産品(巻ばね)については、北米工場間での最適生産化へ向け準備を進めております。損益改善に向け、さらなる構造改革を進めてまいります。

素形材事業につきましては、中国・台湾市場の低迷による特殊合金粉末等の出荷量減と、合金原材料価格の変動に伴う売価下落の影響が大きく、売上高は、前年同期比15億3千2百万円(17.7%)減収の71億9百万円となりました。営業利益は、特殊合金粉末や精密鋳造品の出荷量減少と、マザー工場立ち上げに伴う費用負担増により、前年同期比2億4百万円(99.3%)減益の1百万円となりました。

機器装置事業につきましては、新分野の海洋機器関連製品等の売上増により、売上高は、前年同期比15億7千6百万円(28.2%)増収の71億5千7百万円となりました。営業利益は、売上げの増加により、前年同期比1億6千8百万円(327.0%)増益の2億2千万円となりました。

その他の事業につきましては、流通及びサービス業等ではありますが、売上高は、前年同期比2億9千7百万円(9.6%)減収の28億円、営業利益は、前年同期比3千2百万円(24.6%)減益の9千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、来年度の高炉改修に備えた在庫積上げによる半製品の増加がある一方、減損損失による固定資産の減少や有価証券（譲渡性預金）等の減少により、前連結会計年度末に比べ250億5千8百万円減少し、1,282億6千8百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、仕入債務及び借入金等の減少により、前連結会計年度末に比べて76億3千8百万円減少し、783億3千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、その他有価証券評価差額金の増加がある一方、減損損失による利益剰余金の減少や為替変動に伴う為替換算調整勘定及び非支配株主持分の減少により、前連結会計年度末に比べて174億2千万円減少し、499億3千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月12日に公表いたしました業績予想数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,112	14,733
受取手形及び売掛金	30,945	25,110
電子記録債権	6,626	5,040
有価証券	9,000	—
商品及び製品	8,755	13,891
仕掛品	5,537	6,671
原材料及び貯蔵品	6,677	7,340
その他	3,746	2,682
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	88,396	75,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,432	8,345
機械装置及び運搬具（純額）	14,297	8,502
土地	6,514	13,762
その他（純額）	9,215	6,566
有形固定資産合計	39,460	37,177
無形固定資産		
のれん	3,092	—
土地使用権	6,961	—
その他	1,852	1,470
無形固定資産合計	11,905	1,470
投資その他の資産		
投資有価証券	10,244	10,887
退職給付に係る資産	1,544	1,655
その他	1,775	1,611
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	13,564	14,152
固定資産合計	64,930	52,800
資産合計	153,327	128,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,358	10,191
電子記録債務	6,146	5,634
短期借入金	17,821	18,164
未払法人税等	1,817	30
その他	6,992	5,582
流動負債合計	46,136	39,603
固定負債		
長期借入金	24,421	21,526
役員退職慰労引当金	177	99
役員株式給付引当金	29	16
退職給付に係る負債	9,503	9,693
その他	5,705	7,396
固定負債合計	39,837	38,732
負債合計	85,973	78,335
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	3,691	3,691
利益剰余金	48,706	33,725
自己株式	△1,272	△1,271
株主資本合計	61,128	46,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,456	3,028
為替換算調整勘定	△2,929	△3,361
退職給付に係る調整累計額	△1,615	△1,613
その他の包括利益累計額合計	△2,088	△1,947
非支配株主持分	8,313	5,731
純資産合計	67,353	49,932
負債純資産合計	153,327	128,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	94,904	89,274
売上原価	82,234	77,965
売上総利益	12,670	11,308
販売費及び一般管理費	11,906	10,902
営業利益	763	405
営業外収益		
受取利息	29	27
受取配当金	285	211
その他	179	220
営業外収益合計	495	459
営業外費用		
支払利息	687	865
持分法による投資損失	15	3
為替差損	499	216
その他	142	57
営業外費用合計	1,345	1,143
経常損失(△)	△86	△277
特別利益		
固定資産処分益	150	6
投資有価証券売却益	188	—
受取保険金	—	12
特別利益合計	339	19
特別損失		
減損損失	—	14,714
固定資産処分損	—	294
投資有価証券評価損	37	138
災害による損失	36	117
事業撤退損	—	39
特別損失合計	73	15,304
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	178	△15,562
法人税、住民税及び事業税	918	364
法人税等調整額	106	1,208
法人税等合計	1,025	1,573
四半期純損失(△)	△846	△17,135
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△670	△2,593
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176	△14,541



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△846	△17,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△917	572
繰延ヘッジ損益	8	—
為替換算調整勘定	△1,530	△499
退職給付に係る調整額	97	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△6
その他の包括利益合計	△2,348	85
四半期包括利益	△3,195	△17,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,083	△14,400
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,112	△2,650

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、IFRSを適用している子会社は、IFRS第16号「リース」(以下、「本基準」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。この結果、四半期連結貸借対照表上、有形固定資産のその他(純額)が449百万円、流動負債のその他が38百万円、固定負債のその他が572百万円それぞれ増加しております。

なお、本基準を適用した結果、従来無形固定資産として計上しておりました海外子会社の土地使用权7,108百万円は、その契約が付与する権利が有形固定資産項目の実質上の購入を表していると判断されることから土地として、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の「土地」に含めて計上しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	42,121	37,402	8,558	5,290	1,532	94,904	—	94,904
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,349	12	83	291	1,565	7,301	△7,301	—
計	47,470	37,414	8,642	5,581	3,097	102,206	△7,301	94,904
セグメント利益又は 損失(△)	1,112	△714	206	51	132	788	△24	763

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、暫定的な会計処理を行ってございましたばね事業セグメントに属するGebrüder Ahle GmbH & Co. KGの持分取得に係る取得原価の配分が、第3四半期連結会計期間において確定しております。

なお、当該事象による第3四半期連結会計期間におけるのれんの減少額は、ばね事業セグメントにおいて877百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	38,404	35,304	6,983	6,967	1,615	89,274	—	89,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,153	13	126	189	1,184	5,668	△5,668	—
計	42,558	35,317	7,109	7,157	2,800	94,943	△5,668	89,274
セグメント利益又は 損失(△)	1,190	△1,125	1	220	99	386	19	405

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (第三者割当増資の引受)

当社は、2020年2月6日開催の取締役会において、当社の連結子会社PT. JATIM TAMAN STEEL MFG. が実施する第三者割当増資の引受けを決議いたしました。

## 1. 第三者割当増資引受の目的

インドネシアにおける鋼材事業は、当社アセアン戦略の中核事業と位置付けております。丸鋼の拡販及びばね事業とのシナジーによる平鋼の拡販を進めて、さらなる品質・コスト競争力の向上を図るため、資本の充実と財務基盤強化を目的として、当社は第三者割当増資を引受けることといたしました。

## 2. 引受する株式に係る会社の名称、事業内容、規模

名称	PT. JATIM TAMAN STEEL MFG.
事業内容	特殊鋼棒鋼、ばね平鋼の製造及び販売
規模	資本金1,209,387百万ルピア (2019年12月31日時点)

## 3. 第三者割当増資引受の時期

払込期日	2020年2月28日 (予定)
------	-----------------

## 4. 引受価額及び引受後の出資比率並びに議決権比率

引受価額の総額	500,000百万ルピア
引受後の株式の数 (出資比率)	1,407,802株 (66.5%)
引受後の議決権比率	66.5%

3. 補足情報(連結)

(金額単位=百万円)

1. 業績

	四半期累計期間				通期		
	前期	当期	前第3四半期比増減		前期実績	※当期予想	
	2018年4月-2018年12月	2019年4月-2019年12月	増減率(%)		2019年3月期	2020年3月期	増減率(%)
売上高	94,904	89,274	△5,629	△5.9	129,370	120,000	△7.2
営業利益	763	405	△357	△46.8	1,055	0	△100.0
経常損益	△86	△277	△190	-	117	△1,300	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益	△176	△14,541	△14,365	-	280	△16,000	-

※2019年11月12日公表

1株当たり四半期 (当期)純損益	△11.48	△945.22	18.24	△1,040.00
---------------------	--------	---------	-------	-----------

2. 四半期毎の業績推移

	前期 (2019年3月期)				当期 (2020年3月期)		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)
	売上高	30,595	32,510	31,798	34,466	30,124	30,044
営業損益	259	571	△67	291	46	27	331
経常損益	174	157	△418	203	△100	△304	127
親会社株主に帰属する 四半期純損益	194	102	△473	457	△200	△14,109	△231

3. セグメント別売上高推移

	前期 (2019年3月期)				当期 (2020年3月期)		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)
	特殊鋼鋼材	15,748	15,906	15,814	17,290	15,573	14,087
ばね	11,867	12,871	12,675	12,239	11,681	11,712	11,923
素形材	2,709	3,042	2,889	2,745	2,435	2,275	2,398
機器装置	1,508	2,191	1,881	3,672	1,766	2,832	2,558
その他	1,044	976	1,077	1,073	1,014	952	832
調整額	△2,283	△2,478	△2,539	△2,554	△2,347	△1,815	△1,505
合計	30,595	32,510	31,798	34,466	30,124	30,044	29,105

4. 要約連結貸借対照表

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
	2019年3月末	2019年12月末			2019年3月末	2019年12月末	
流動資産	88,396	75,467	△12,928	負債	85,973	78,335	△7,638
現預金等	26,112	14,733	△11,378	営業負債	19,505	15,826	△3,678
営業債権	37,571	30,151	△7,420	有利子負債	42,242	39,690	△2,551
たな卸資産	20,970	27,903	6,932	その他	24,225	22,818	△1,407
その他	3,742	2,679	△1,062				
固定資産	64,930	52,800	△12,129	純資産	67,353	49,932	△17,420
有形固定資産	39,460	37,177	△2,282	株主資本	61,128	46,148	△14,979
無形固定資産	11,905	1,470	△10,435	その他の 包括利益累計額	△2,088	△1,947	141
投資その他資産	13,564	14,152	588	非支配株主持分	8,313	5,731	△2,582
資産合計	153,327	128,268	△25,058	負債純資産合計	153,327	128,268	△25,058